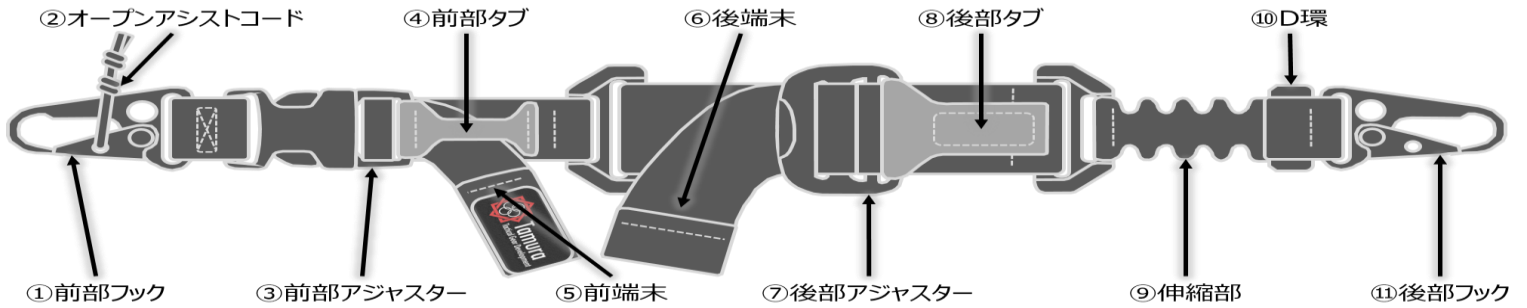
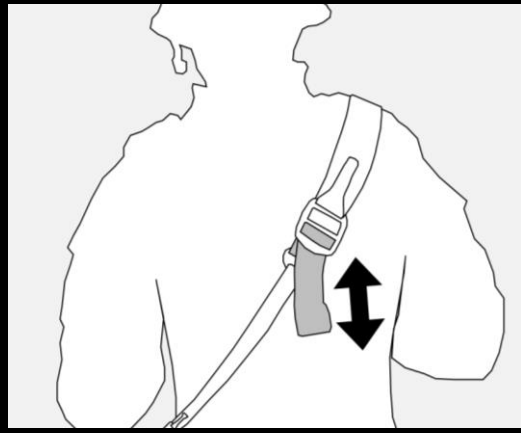


田村装備開発 DR (Dual Role) スリング使用方法



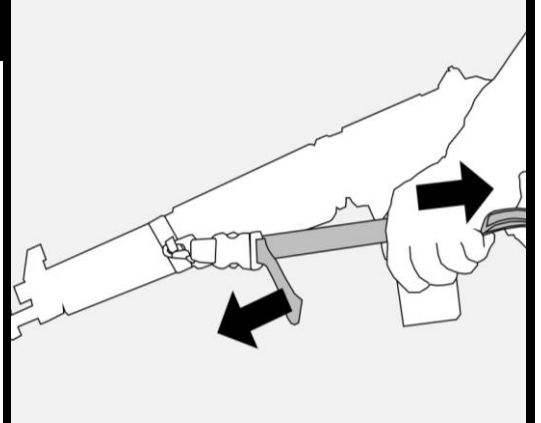
1. サイズ調節

使用前に初期設定（基礎サイズの調節）を行ないます。
⑦後部アジャスターの前側に出ている⑥後端末の長さを調節してください。
1点式・2点式で使い易いサイズは異なりますので、切り替えの都度調節することをお勧めしますが、調節せずに切り替えることも可能です。
DRスリングは大柄な隊員がアーマーを着用しても使用できる程度の長さがあります。大きく余った⑥後端末は切断して縫い直すか、丸めて縫い付ける、またはテープ等で留めることをお勧めします。



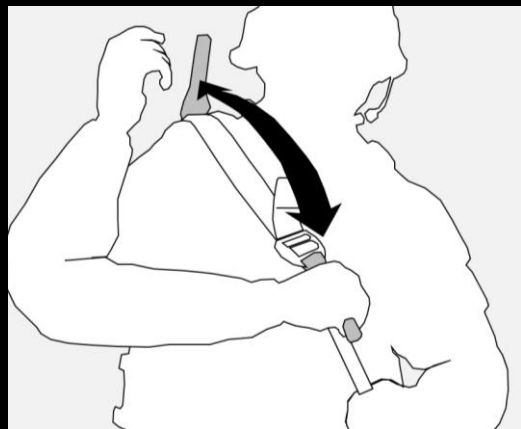
2. 前部アジャスター操作

使用中の迅速な長さの調節には、③前部アジャスターを操作します。
⑤前端末を引くとスリングが締まります。
緩める際は④前部タブを前方に引いてください。
銃を背中側に回す際に、あらかじめ③前部アジャスターを締めておくと増し締め効果が大きくなります。
また、③前部アジャスターにはサイドリリースバックルを使用しています。緊急時や、スリングが装備品等に絡まったときなどはバックルをリリースして銃を身体から離すことができます。



3. 後部アジャスター操作（増し締め）

増し締め機能により、銃を背中側に吊ることができます。
銃を背中側に回し、⑧後部タブを引いて締めてください。緩める際は⑧後部タブまたは⑥後端末を反対方向に引いてください。
※操作時はスリングを手繰り、ねじれないことを確かめ、⑧後部タブを真っすぐに操作してください。スリングがねじれたまま⑦後部アジャスターに入ると、ロック（噛み込み）する場合があります。
また、ねじれ防止のため適宜スリングにねじれないか確認し、汚れた場合はぬるま湯で手洗いし、陰干ししてください。
※きつく増し締めをすると、首や肩・腕の血行を阻害する場合があります。締めすぎや長時間の使用は避けてください。



4. 装着方法の切り替え

①前部フックの装着位置を変更することで、1点式・2点式の変更が可能です。
フックを銃器のスリング環にかける場合は、ゲートの向きに注意してください。
※銃本体にゲートが当たる向きで取り付けると、不意にゲートが開き銃が脱落する可能性があります。
①前部フックの②オープンアシストコードを引くことで、ゲートの開閉が容易になります。
1点式として使用する場合、①前部フックは⑪後部フックの上の⑩D環・後部フックの穴・銃のスリング環など任意の位置に取り付けてください。

